

きれいな花を咲かせていた桜や、けやきの木々から降ってくる、大量の花粉やら花のかす（枯れ落ちたがくです）たちからようやく開放されようとしています。いつの季節も自然の力や不思議さに、驚かされたり感動したり。ふと見上げると、青々とした木々の葉がとてもまぶしく感じられます。

今年は例年と比較すると、静かな4月だったように思います（新入園児の泣き声が少ないのです！）。初めて集団生活を経験する3歳児さん。朝お母さんとの離れ際に大きな声で泣いていた子も、先生の声かけのほか、ありを見つれたり、とかげの素早い動きを見て、ぴたりと泣きやむ姿が。ここでも春という自然が助けてくれているようです。進級した子どもたちも、期待と緊張が混ざりあったような表情をしていましたが、新しいクラスにすこしずつ慣れて、笑顔を見せている様子です。それでも・・・想いを伝えたいけれど、なんと言ったらいいかわからない・・・相手がどう感じているかわからないから、遊びに誘えない・・・つい、声を荒げてしまった、手が出てしまった・・・など、ちょっとしたトラブルも発生しているようです。〇〇ちゃんはこんな風を感じたんじゃないかな、こんな時はこういう言葉をつかってみたらどうかな、などなど。関わり方を考える、こういった小さな積み重ねを丁寧にしていくことで、他者との出会いから、関わり方、関係性の育ちへとつながっていくことを信じて、子どもたちを見守り、援助していこうと思います。

さて、今年は『楽しいこと』ができるといいな、と考えています。進級児には、「やりたいことを考えておいて」と伝えてあったのですが、それは職員にも同じ。それぞれが楽しいと思うことを共有できると、生活がより豊かになる、と思うのです。みんなで経験することで宝物になる！そんな体験を重ねる一年にしたいです。

さっそく迎えるゴールデンウィーク。幼稚園を忘れるほど楽しく過ごすのでしょうかけれど、明けたら今度は先生やお友達と、思いっきり『楽しいこと』を重ねていきましょう！

みなさま素敵な休日をお過ごしくださいね！

（坂本）

### 今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ 一人遊びを充分楽しむ
- ・ 友達の名まえやマークに興味をもつ
- ・ みんなでいるところで遊んだり、見たり聞いたりすることの楽しさを知る
- ・ 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でやろうとする

4歳

- ・ 園生活のリズムになれて活動や遊びにすすんで参加しようとする
- ・ 自分の意見が言える(うれしいことや悲しいことを自分なりの言葉で表す)
- ・ 相手のことも聞こうとする

5歳

- ・ 自分がしたいと思う遊びをくりかえし楽しむ
- ・ 今日、明日何をするという短期の目的だけでなく、比較的長期の見通しが漠然とでもわかって行動できる
- ・ 互いに言いたいことが言える(認め合い)